

地域連携室だより 2023 冬

松山市民病院は

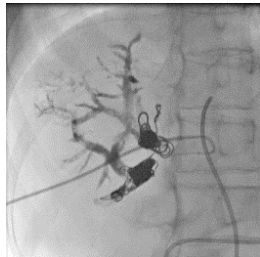
インターベンションに積極的に取り組んでいます。

放射線科・IVR科部長 平田 雅昭

放射線科の Interventional Radiology (IVR) の領域では、頭から足の先まであらゆる臓器を扱います。

新生物治療、外傷止血、内臓動脈瘤、喀血、肺 AVM、門脈圧亢進症とそれに伴う静脈瘤治療、膿瘍ドレナージ、副腎サンプリング、画像ガイド下生検など手技は多様であり、各担当診療科と連携して治療にあたっています。この特性から特定の外来枠は設けず、基本的に院内各診療科の依頼に応じるかたちで手技を行っておりますが、担当する治療には常に全力で臨んでおります。適応症例がありましたら各診療科へご紹介いただければ誠心誠意対応します。また、何か御質問などがありましたら直接 IVR 科までお気軽に連絡いただければ幸いです。

近年は循環器内科、脳神経外科とも協働して手技に当たることも多く、脳神経外科では脳卒中ホットラインをもうけ急性期脳梗塞の血栓回収、循環器内科では透析シャントトラブルの治療や下肢の動脈硬化性病変の血管内治療にも力を入れております。最新のハードをとことん使いこなし、今後さらに質の高い医療を患者様に提供したいと考えております。適応症例の患者さんがおいでになりましたら、お気軽にご相談ください。



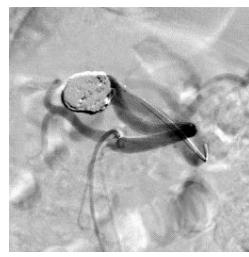
術前門脈塞栓



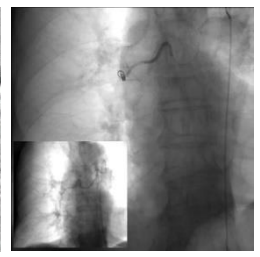
肺 AVM



猪瀬型肝性脳症に
対する BRTO



内臓動脈瘤塞栓



喀血に対する BAE

下肢静脈瘤外来再開のご案内

心臓血管外科部長 森田 照正

日頃より、当院との地域連携に対してご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。2022年2月に順天堂大学より心臓血管外科に赴任しております。しばらくの間お休みしておりました「下肢静脈瘤」の手術・カテーテル治療を再開いたしました。私達は患者さんの健康寿命延長を旨とし、症状改善に加え整容的満足感をお持ちいただけるよう、低侵襲治療を実施いたします。患者さん・ご家族にできるだけわかりやすくご説明し、ご希望に沿った治療を心掛けております。下肢静脈瘤の症状や治療に関して、お困りごとがございましたらお気軽にご相談ください。

診療日時 ※毎週木曜日午前（完全予約制）

